

平成30年度 現任教育計画一覧表

	研修名	目的	目標	内容・方法	対象者	
ラダー別教育	(新人)研修 I	新人看護師年間教育計画に沿って実施	新人看護師年間教育計画に沿う	新人看護師年間教育計画に沿う	新人看護師	
	ラダー I (2年目) 研修	看護過程の展開	看護過程の思考を理解したうえで看護過程の展開を行う。その看護実践のアウトカム(成果・効果・結果)評価を行うことでその後の看護につなげる。	①患者の全体像を捉え、アセスメント能力向上を図ることができる。 ②NANDA-1看護診断分類法Ⅱの13領域に沿って情報収集・アセスメントを行い、看護診断の抽出ができる。 ③個別性を踏まえた看護計画を立案し、実施・評価できる。 ④自己の行った看護を振り返ることができる。	1)模擬患者設定して看護過程展開(OJ-JT) 2) 1)を活用して自部署で看護過程展開(O-JT) 3)まとめ(自己の看護の振り返り)	卒後2年目又は師長の推薦者
		手術室研修	術前・術中・術後の看護の特徴や手術室看護師の役割を理解する。継続看護の必要性を理解し、日々の看護実践につなげる。	①術前・術後の看護や患者の状態を観察することができる。 ②病棟看護師と手術室看護師の連携の必要性が理解でき、今後の看護実践への課題を明確にできる。	1)事前に参加者患者を決定 2)術前・術中・術後の看護体験 3)まとめ(体験後の振り返り)	
		他部署研修	配属部署以外の部署体験を行うことで、医療・看護の見識を深め、自部署の看護につなげることができる。	①他部署の役割・機能について理解できる。 ②他部署で行われている治療や看護を知ることができる。 ③今までの看護で不足していた知識を補うことができる。 ④研修で学んだことを現場で活用することができる。	1)他部署での見学と体験研修 2)まとめ(体験後の振り返り)	
		RCA分析研修	発生した医療事故やひやりはつと報告事例の再発防止をするための事故分析方法を学ぶ。 有害事象が発生する前のリスク要因に気づき、日常業務内の問題を先駆、管理者に報告・相談できる力を養う。	①発生した医療事故やヒヤリハット報告事例の再発防止をするための事故分析方法の流れがわかる ②グループワークを通して、ブレインストーミングとKJ法の手法を用いて意見を整理し、他者に自分の考えを伝える。他者の意見を聴く姿勢を持つことができる。	講義 GW 発表	
		チューター研修	新人看護師教育体制におけるチューターの役割を学ぶ。新人看護師が職場に適應できるように支援する能力を身につける。	①チューターとしての振り返りを行い、自己の目標を明確にできる。 ②他部署のチューターとコミュニケーションを図り、情報交換を行うことで、悩みや迷いなどを表出できる。 ③新人看護師への最も身近な相談役として支援できる。	チューターについての講義とGW	
	ラダー II 研修	日次リーダー研修	固定チームナーシングにおける日次リーダーが担う役割を学ぶ。リーダーシップを発揮し、日次リーダーとしての能力を高める。	①固定チームナーシングにおける日次リーダーの基本的な役割を理解できる。 ②役割課題を見出し、リーダーシップを発揮することができる。 ③他部署のスタッフとコミュニケーションを図り、情報交換を行い、今後の業務に活かすことができる。	日次リーダーについての講義とGW	ラダーIIの習得を目指すもの又は師長の推薦者
		看護過程研修	看護過程展開に必要な思考過程を理解し、看護実践のアウトカム(成果・効果・結果)評価を行い実践に活用する。	①患者の全体像を捉え、アセスメント能力向上を図ることができる。 ②NANDA-1看護診断分類法Ⅱの13領域に沿って情報収集・アセスメントを行い、看護診断の抽出ができる。 ③個別性を踏まえた看護計画を立案し、実施・評価できる。 ④自己の行った看護を振り返り、どのように評価したのかまとめて発表できる。	1)自部署で受け持ち患者の看護過程展開 2)まとめ(自己の看護の振り返り)	
		伝達報告会	自己で学んできた研修を他者に伝えることで研修内容が復習でき、さらなる自己知識の習得につなげる。情報共有をして看護現場に活用する。	①院外研修会で学んだ内容を指導を受けながらパワーポイントで分かりやすくまとめることができる。(共通) ②学習した内容を伝達報告会もしくは部署で伝達できる。(ラダーII) ③学習した内容を実践に活かし、発表することができる。(ラダーIII)	1)伝達報告(各部署代表) 2)各部署で伝達報告	
	ラダー III 研修	チームリーダー・サブリーダー研修	固定チームリーダー・サブリーダーが担う役割を学ぶ。リーダーシップを発揮し、チーム運営を円滑にするための能力を高める。	①固定チームリーダー・サブリーダーの役割を理解し、自己の目標を明確にする。年間の活動内容を理解し、カンチャート記入方法を理解し、チームメンバーへ指導ができる。 ②同じ役割を担う他部署のスタッフとコミュニケーションを図り、情報交換を行い、今後の小集団活動に活かすことができる。 ③自己のチームへの関わりを振り返り、役割遂行能力について自己の成長を知るとともに、次年度の課題も見出すことができる。	チームリーダー・サブリーダーについての講義とGW	ラダーIIIの習得を目指すもの又は師長の推薦者
マネージメント研修		部署における問題に対する解決方法を学び、自立した看護師の育成を図る。	①ドナペリアンの枠組みを使用して問題を明確にすることができる。 ②問題解決に向け、対策を考え実践できる。 ③実践した内容を評価し、課題を見出すことができる。	講義とGW		
ラダー IV 研修	中間管理者研修	現在の医療現場を視野に、病院管理や看護管理の側面から問題点を分析し、解決に向けた方向性を形成する。	①中間管理者としての組織の課題を考え、分析・解決できる ②論理的思考ができ、自分の考えを自分の言葉で述べることができる ③人材育成に際して管理者としてのかかわり方が理解でき、実践で活用できる	師長会で年間を通して研修計画立案	看護師長主任	
	師長研修	中間管理者として求められる責務を理解し、部署目標の達成を目指して看護管理過程が展開できる能力を養う	④自己の行った看護を振り返ることができる。中間管理者として地域と協働・連携・チーム医療の視点を学び、実践で活用できる	主任会で年間を通して研修計画立案		
	主任研修					
全体教育	指導者研修	実地指導者研修	実地指導者としての役割を理解し、部署の新人看護師、中途入職者の教育活動を推進する	①新人看護師の教育目標達成に向けての教育的役割がとれる ②部署の中で自己の役割を認識し、指導調整的役割ができる ③他部署との情報共有によって自部署の問題点を見出し解決することができる	実地指導者についての講義とGW	部署の教育担当者又は師長の推薦者
		実習指導者研修	看護教育における実習の意義及び実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導ができるような知識を習得する。	①実習指導者としての役割が認識できる ②教育の基礎を学び実習指導に活かすことができる ③自己の実習指導を振り返り、実習指導者としての自己の課題が明確にできる。	実習指導についての講義とGW	
	実践研修	メンバーシップ研修	固定チームナーシングにおける受け持ち看護師の役割を理解し、部署でメンバーシップが発揮できる。	①チーム活動について理解し、自己の役割を自覚することができる。 ②受け持ち患者の看護に責任を持ち、看護実践できる。 ③部署でリーダーシップをとりながら、受け持ち看護師の役割推進の活動がとれる。	講義 GW	師長の推薦者
		他部署研修	一つの部署では得ることができない幅広い臨床実践能力を獲得する機会とし、看護観をより深める機会にする。	各診療科・部署で対応		全看護職員対象
		講演会など	看護に必要な最新情報を得て、幅広く供用を深め看護に活かす	(案) ・アセスメントの統合 ・倫理綱領 ・看取りにおける尊厳の尊重と苦痛の緩和 ・エンゼルケア ・エビデンスの活用 ・意思決定のプロセスの理解	講演・インターネット配信研修	全看護職員対象
看護助手教育	移動・食事介助技術研修	看護チームの一員としての自覚を持ち、安全・安心な知識と技術を学び看護助手の役割を果たすことができる	①患者の安全を守り、正しい介助技術を身につけることができる ②事例を通して倫理上の問題点に気づき、倫理への理解を深めることができる	講義と演習GW	全看護助手対象	
	倫理研修					